

令和6年度 薬学教育プログラム 評価報告書

評価対象年度 令和5年度

岩手医科大学 薬学教育評価委員会

令和 6 年度薬学教育プログラム 自己点検・評価結果について

薬学教育評価委員長
那谷 耕司

(1)概要

薬学教育評価委員会が実施する「教育評価」では、本学の内部質保証活動のうち、薬学部の教育プログラムレベルにおける自己点検・評価を行っている。また、この教育評価は、内部質保証の強化と、改善状況の明瞭化を目的として、令和 6 年度より活動の内容を刷新した。

教育評価は、薬学教育評価委員会が薬学教育プログラムについての評価を通して教務委員会に提言を行い、さらにその提言に対する教務委員会改善状況を評価することで、本学の薬学教育プログラムの質の保証・向上を目指すものである。

(2)令和 6 年度自己点検・評価結果および改善状況について

本年度は薬学教務委員会が行う教育プログラムに対して、薬学教育評価委員会より提言(7 項目)を行い、教務委員会に改善計画の実施と改善報告書の作成を依頼した。

その後、教務委員会が作成した改善報告書に基づき、薬学教育評価委員会が状況の評価を行い、その結果は以下のとおりであった。

- ・ 改善状況 A(改善された) … 3 項目
- ・ 改善状況 B(改善計画の継続が期待される) … 4 項目
- ・ 改善状況 C(改善計画の見直しが必要) … 0 項目

詳細は別添「薬学教育プログラム 自己点検・評価 改善報告書」参照

(3)当該年度の教育評価について

薬学教育評価委員長総括：

当該年度の教育評価は概ね計画どおり進行し、活動に問題はなかった。

教務委員会に行った提言のうち、改善状況 B として評価した項目については、引き続き改善を求め、本学の薬学教育プログラムの更なる質の向上に貢献していきたいと考えている。

また、教育活動の指標となる評価・点検項目については、学生委員および外部委員を含めた薬学教育評価委員の意見を取り入れながら、次年度以降、更に洗練したものにしていきたい。

薬学教育プログラム 自己点検・評価
改善報告書に対する検討結果

薬学教育評価委員会

令和7年6月5日

■ 提言内容

整理番号	シート1、シート3、シート5
点検・評価項目	
教務委員会の 自己点検・評価の詳細	
薬学教育評価委員会 提言内容	「関連資料(提出必須資料)」の提出が不足しています。「シート1 基礎資料 1,2」「シート3 訪問時資料 13,14」「シート5 調書添付資料 7」を提出してください。

■ 改善状況について

改善状況	改善が完了した
改善状況の詳細	
今後の改善計画 (改善が未了の場合)	
根拠資料	シート1 基礎資料 1: カリキュラムの体系性と科目の順次性を示す図 (教科課程部会) シート1 基礎資料 2: 薬学教育モデル・コアカリキュラムの実施状況 (教科課程部会) シート3 訪問時資料 13: 学生授業評価アンケートの集計結果 (教育検証部会) シート3 訪問時資料 14: 教員による担当科目の授業の自己点検報告書 (教育検証部会) シート5 調書添付資料 7: 実務実習(薬局・病院)の概略評価表 (実務実習部会)

■ 改善状況の評価(薬学教育評価委員会記入欄)

評価結果	A(改善を確認した)
薬学教育評価委員会 によるコメント (評価がB又はCの場合)	

■ 提言内容

整理番号	
点検・評価項目	
教務委員会の 自己点検・評価の詳細	
薬学教育評価委員会 提言内容	「点検結果の詳細」で実施状況を明言している場合（例えば、「行っている」「配置されている」と記載されている場合）には、根拠資料を明示するようにしてください。根拠資料がない場合には、状況に応じて表現を変えるようにしてください。

■ 改善状況について

改善状況	改善が完了した
改善状況の詳細	
今後の改善計画 (改善が未了の場合)	
根拠資料	<p>評価基準 3-1-1-1 点検・評価項目 1、2、3、9、10 に資料追加</p> <p>評価基準 3-1-1-2 点検・評価項目 1、2、3 に資料追加</p> <p>評価基準 3-1-1-3 点検・評価項目 1、2、3、4、5 に資料追加</p> <p>評価基準 3-2-1-1 点検・評価項目 2、3 に資料追加</p> <p>評価基準 3-2-1-2 点検・評価項目 2、4 に資料追加</p> <p>評価基準 3-2-1-3 点検・評価項目 1 に資料追加</p> <p>評価基準 3-2-2-1 点検・評価項目 1、2、3、4 に資料追加</p> <p>評価基準 3-2-2-2 点検・評価項目 1、2、3、4 に資料追加</p> <p>評価基準 3-2-2-3 点検・評価項目 1、2、3、4、5 に資料追加</p> <p>評価基準 3-2-3-1 点検・評価項目 1、2、3、4 に資料追加</p> <p>評価基準 3-2-3-2 点検・評価項目 1、2 に資料追加</p> <p>評価基準 3-2-4-1 点検・評価項目 1、2、3 に資料追加</p> <p>評価基準 3-2-4-2 点検・評価項目 1 に資料追加</p> <p>評価基準 3-2-4-3 点検・評価項目 2、3 に資料追加</p> <p>評価基準 3-2-5 点検・評価項目 1、2、3、4、5、6、7 に資料追加</p> <p>評価基準 3-3-1-1 点検・評価項目 1、2、3、4 に資料追加</p> <p>評価基準 3-3-1-2 点検・評価項目 1、2、3、4、5、6、7、8、9 に資料追加</p>

■ 改善状況の評価(薬学教育評価委員会記入欄)

評価結果	A(改善を確認した)
薬学教育評価委員会 によるコメント (評価が B 又は C の場合)	

■ 提言内容

整理番号	シート5 / 点検・評価項目 12
点検・評価項目	実務実習の開始前に実習施設に対して、実務実習の概略評価表を提示しており、評価表が実務実習に関する連絡会議で示された「評価の観点」(2018/2/28)の例示に対応している。
教務委員会の自己点検・評価の詳細	実務実習受け入れ施設には事前に実務実習管理指導システムの運用についてお知らせし、運用のためのログイン ID および仮パスワードを交付している。このタイミングで概略評価表および評価の観点について内容を確認することができる。なお、実務実習指導・管理システムは東北地区調整機構において同一のシステムを用いることとしており、受け入れの実績がある施設は内容について概ね理解している。
薬学教育評価委員会提言内容	評価表が実務実習に関する連絡会議で示された「評価の観点」(2018/2/28)の例示に対応しているかどうかを記載してください。

■ 改善状況について

改善状況	改善が完了した
改善状況の詳細	評価は実務実習指導・管理システム(Webシステム)にて実施している。本学は、薬学教育協議会 WEB システム検討委員会の要望に合致するシステムである富士フィルムシステムサービス(旧富士ゼロックス)を用いており、本システムにおいて評価項目は「概略評価の例示」に示されている内容がデフォルトとして登録されている。したがって評価表は実務実習に関する連絡会議で示された「評価の観点」に対応していると理解し運用している。
今後の改善計画 (改善が未了の場合)	
根拠資料	00_WEB システムの確認について、01_実務実習指導・管理システム評価表例、011_概略評価項目_病院、012_概略評価項目_薬局

■ 改善状況の評価(薬学教育評価委員会記入欄)

評価結果	A(改善を確認した)
薬学教育評価委員会によるコメント (評価が B 又は C の場合)	

■ 提言内容

整理番号	シート5 / 点検・評価項目 13
点検・評価項目	実務実習の開始前に実習施設が作成する実務実習実施計画について、実習生担当教員が確認を行っている。
教務委員会の自己点検・評価の詳細	実務実習部会より実務実習実施計画の確認をするよう連絡しているが、実務実習指導・管理システムには東北地区調整機構作成のモデルスケジュールを事前に登録しているため、変更の有無について把握出来ていない可能性がある。また、実務実習実施計画の確認についても特に報告は求めている。
薬学教育評価委員会提言内容	今後、実習施設が作成する実務実習実施計画について、実習生担当教員が確認することが望まれる。

■ 改善状況について

改善状況	改善計画が進行中
改善状況の詳細	
今後の改善計画 (改善が未了の場合)	<p>実習施設への連絡は、実習学生の所属する分野の教員が担当し連絡を行っている。同一実習施設に複数分野の実習学生がいる場合は分野間の教員で協議し施設担当の代表者を決め、代表教員が実習施設から得た情報を E-mail などの適切な方法で他分野教員と共有している。一部の施設においては施設代表教員が実務実習開始前の事前連絡時に実務実習指導計画書を実習施設から入手し、該当学生の所属する分野の教員と共有している。</p> <p>個々の学生については所属分野の担当教員がフォローアップを行うこととしており、実務実習指導・管理システム(Web システム)には実施計画書を表示させるページがあり、施設担当教員は当該ページを閲覧することで実施計画書について確認することができる。ただし、実施計画書について実務実習開始前に確認するよう担当教員への連絡は行っているが、担当教員が確認したかの確認は出来ていないため(確認しているものとして対応している)、改善策として初回連絡時に必ず PDF 形式の実務指導計画を指導薬剤師より提出してもらい、実務実習指導・管理システムの実務実習指導計画書のページに PDF 形式のファイルとして添付することとする。また、実務実習巡回指導報告書に実務実習指導計画内容の確認日を記載してもらい、実務実習巡回指導報告書の確認の際に実務実習部会が確認を行い、未実施の場合は所属分野長および担当教員に対応することとする。</p>
根拠資料	資料 013 施設連絡・指導報告書巡回指導報告書【施設名】改定

■ 改善状況の評価(薬学教育評価委員会記入欄)

評価結果	B(改善計画の継続が期待される)
薬学教育評価委員会 によるコメント (評価が B 又は C の場合)	「今後の改善計画」に記載されているように、2025 年度の実務実習からは、 <ul style="list-style-type: none">・ 初回連絡時に PDF 形式の実務指導計画を指導薬剤師より提出してもらい、実務実習指導・管理システムの実務実習指導計画書のページに PDF 形式のファイルとして添付する。・ 担当教員は実務実習巡回指導報告書に実務実習指導計画内容の確認日を記載する。実務実習部会は実務実習巡回指導報告書の確認の際に確認日の記載を確認し、未実施の場合は所属分野長および担当教員に対応を促す。ことを実施してください。

■ 提言内容

整理番号	シート13 / 点検・評価項目 2
点検・評価項目	ディプロマ・ポリシーに掲げる学生が身につけるべき資質や能力の達成状況に関する評価結果について、卒業認定又は認定に至る過程において活用している。
教務委員会の自己点検・評価の詳細	通番 1 に記載したように、「卒業時コンピテンシー」および「コンピテンシー達成ロードマップマトリックス」を定めているが、卒業認定において、修得すべき単位数以外の学生が身につけるべき資質・能力の評価について、可視化した資料等をもって反映することが出来ていない。
薬学教育評価委員会提言内容	今後、修得すべき単位数以外のディプロマ・ポリシーに掲げる学生が身につけるべき資質・能力についても、卒業認定時に客観的に評価できるよう、体制を整備することが望まれる。

■ 改善状況について

改善状況	改善計画が進行中
改善状況の詳細	
今後の改善計画 (改善が未了の場合)	2024 年度(令和 6 年度)までに、卒業の認定に関する方針に掲げた学生が身につけるべき資質・能力の評価を定めるため、ディプロマ・ポリシーに基づく「岩手医科大学薬学部コンピテンシー」を制定した。更に、1 年次から 6 年次までの全ての履修科目と卒業時コンピテンシーの達成度の評価を可視化するため「コンピテンシー達成ロードマップマトリックス」を作成した。2025 年度(令和 7 年度)以降、これに評価の時期や評価方法を組み込み、総合的な学修成果の可視化を進められるよう検討していく予定である(資料:自己点検・評価報告書(草案))。なお、学修成果の可視化に関しては、全学教育企画課および全学の教学 IR センターでも整備を進める予定である(資料なし)。
根拠資料	自己点検・評価報告書(草案)

■ 改善状況の評価(薬学教育評価委員会記入欄)

評価結果	B(改善計画の継続が期待される)
薬学教育評価委員会によるコメント (評価が B 又は C の場合)	2025 年度からは、評価の時期や方法を組み込んだ「コンピテンシー達成ロードマップマトリックス」により、学修成果がより明確に可視化されることが期待される。

■ 提言内容

整理番号	シート18 / 点検・評価項目 1
点検・評価項目	学生が身につけるべき資質・能力の達成度を評価する取組を行っており、その結果を集計している。
教務委員会の自己点検・評価の詳細	<p>学修成果の評価に関わる方針として、全学における「学修成果の評価検証方針及び指標」のほか、薬学部のカリキュラム・ポリシーに基づく学修成果の評価についてアセスメント・ポリシーを定めている。薬学部ではアセスメント・ポリシーに基づき、教育要項(シラバス)において、各科目が教育成果(アウトカム)と、その達成度を測定するための指標である到達目標、レポートや試験結果等の評価の配分を含めた成績評価方法を明示しており、これらに基づいて厳格かつ公正な成績評価を行い、その結果を集計している。</p> <p>また、本学では、本学の学生が卒業時に身につけておくべき具体的な資質や能力について、学則やディプロマ・ポリシーに基づく「卒業時コンピテンス・コンピテンシー」として定めることを進めている。薬学部でも、令和3年度に「岩手医科大学薬学部コンピテンシー」を定めており、更に、1年次から6年次までの全ての履修科目において卒業時コンピテンシーの達成度の評価を平準化するため、「コンピテンシー達成ロードマップマトリックス」を作成した(令和4年度改訂薬学教育モデル・コア・カリキュラムに基づく新教育プログラムに準拠したコンピテンシーは、教員研修会での議論を重ねながら作成中)。但し、評価の時期や評価方法については検討中である。</p>
薬学教育評価委員会提言内容	今後、令和4年度改訂薬学教育モデル・コア・カリキュラムに基づく新教育プログラムに準拠したコンピテンシーを作成し、評価の時期や評価方法についても確定させることが望まれる。

■ 改善状況について

改善状況	改善計画が進行中
改善状況の詳細	
今後の改善計画(改善が未了の場合)	令和4年度改訂薬学教育モデル・コア・カリキュラムに基づく新教育プログラムに準拠したコンピテンシーは、教員研修会での議論を重ねながら作成した。最終的には教授会にて審議・承認されている(資料:教授会議事録)。2025年度(令和7年度)以降、評価の時期や評価方法についても整備を行う予定である。
根拠資料	令和3(2024)年度第7回薬学部定例教授会議事録

■ 改善状況の評価（薬学教育評価委員会記入欄）

評価結果	B(改善計画の継続が期待される)
薬学教育評価委員会 によるコメント (評価が B 又は C の場合)	令和 4 年度改訂薬学教育モデル・コア・カリキュラムに基づく新教育プログラムに準拠したコンピテンシーはすでに作成されており、今後、評価の時期や評価方法についても整備されることが期待される。

■ 提言内容

整理番号	シート18 / 点検・評価項目 2
点検・評価項目	学生が身につけるべき資質・能力の達成度を評価する取組の結果について検証を行っており、カリキュラムの検討・改善・向上の資料として活用している。
教務委員会の自己点検・評価の詳細	学修成果の評価結果は、カリキュラムの検討・改善・向上に活用している。具体的には、授業アンケート等の結果に応じた各授業責任者による改善の他、成績評価に基づく補習講義の導入や、学生の負担感軽減の為の試験日程やレポート提出期限の科目間調整などが挙げられる。今後、学修成果の評価結果を教育プログラム全体の編成や実施の改善に組み込むにあたっては、「岩手医科大学薬学部コンピテンシー」に基づく「コンピテンシー達成ロードマップマトリックス」に評価の時期や評価方法を組み込み、総合的な学習成果の可視化を進められるよう検討を行う必要がある。
薬学教育評価委員会提言内容	今後、「岩手医科大学薬学部コンピテンシー」に基づく「コンピテンシー達成ロードマップマトリックス」に評価の時期や評価方法を組み込むことにより、総合的な学習成果の可視化を達成することが望まれる。

■ 改善状況について

改善状況	改善計画が進行中
改善状況の詳細	
今後の改善計画 (改善が未了の場合)	2025 年度(令和 7 年度)以降、評価の時期や評価方法を「コンピテンシー達成ロードマップマトリックス」に組み込むことを検討していく。更に、総合的な学修成果の可視化については、特定の科目、例えば「1 年早期体験学習」、「2 年早期臨床体験」、「3 年チーム医療リテラシー」、「6 年 4 学部合同セミナー」などにおいて、共通のルーブリック評価表を定めるなど、学年進行に応じて達成度を段階的に評価する方法などを検討する。
根拠資料	なし

■ 改善状況の評価(薬学教育評価委員会記入欄)

評価結果	B(改善計画の継続が期待される)
薬学教育評価委員会によるコメント (評価が B 又は C の場合)	今後、「コンピテンシー達成ロードマップマトリックス」に評価の時期や評価方法を組み込むとともに、「1 年早期体験学習」、「2 年早期臨床体験」、「3 年チーム医療リテラシー」、「6 年 4 学部合同セミナー」などの科目において共通のルーブリック評価表を定めることで、学修成果を可視化し、学年進行に応じた達成度の段階的評価が実施されることが期待される。